

本日は、大変お忙しいところ、お集まりをいただき、誠にありがとうございます。

令和7年度 当初予算の編成が終わりましたので、その概要について、ご説明申し上げます。

令和7年度当初予算につきましては、一般会計388億6千万円といたしました。

予算の編成にあたっては、令和7年度が「真岡市総合計画 2025-2029」および「第3期真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が新たにスタートを切る年度であることから、新たなまちづくりの指針に基づく事業の着実な推進をはじめ、議会各会派からの建議要望や市民の皆様からの意見の反映などを軸に、選ばれる都市(まち)もおかの実現に向けた予算編成に努めたところであります。

「真岡市70周年および二宮誕生70年」という節目の年から未来へ向けて新たな一歩を歩み出す年にあたり、令和7年度予算を『100年へ向けた第一歩 未来へつなぐまちづくり予算』として、「JUMP UP もおか」、「だれもが“わくわく”するまち」を目指してまいります。

それでは、令和7年度当初予算の内容について、資料「令和7年度当初予算の概要」に基づいて、ご説明いたします。

まず、1ページの総括表であります、一般会計は388億6千万円、前年度に比べ、2億4千万円、0.6パーセントの減少であります。

特別会計につきましては、全部で、6つの会計となりますが、全会計の合計では、174億7,402万3千円で、前年度に比べ、861万9千円の減少であります。

水道事業会計は、21億3,252万2千円で、前年度に比べ、4,317万円の増加であります。

下水道事業会計は、32億5,033万6千円で、前年度に比べ、6億9,132万2千円の減少であります。

一般会計、特別会計、事業会計を合わせた合計では、617億1,688万1千円で、前年度に比べ、8億9,677万1千円、1.4パーセントの減少であります。

次に、2ページは、一般会計予算の推移を表にしたものであります。

次に、3ページをご覧ください。
一般会計歳入予算であります。主なものを申し上げます。

1款、市税につきましては、142億829万2千円で、前年度に比べ、4億6,444万3千円、3.4パーセントの増加を見込んでおります。

主な理由といたしましては、住民税の令和6年度分の定額減税が

完了することや、納税義務者数の増加、固定資産税の新・増築家屋の増加などにより、増額を見込んでおります。

10款、地方特例交付金につきましては、定額減税の補填が終了することから、3億6,600万円減の、5,000万円を見込んでおります。

11款、地方交付税につきましては、令和7年度地方財政計画において増額の見込みが示されたことや、これまでの交付実績を踏まえ、3億円増の29億円を見込んでおります。

15款、国庫支出金につきましては、複合交流拠点施設monacaや第一学校給食センター建設等の大型事業が終了することから減少の見込みであり、

16款、県支出金につきましては、障がい福祉サービス事業費の増や、荒町・田町地区中心市街地リノベーション事業において物件移転等を実施することなどにより、4億1,708万5,000円増の30億2,043万7千円を見込んでおります。

18款、寄附金につきましては、ふるさと寄附金の受入れ増により、今年度当初予算6億5,000万円から11億円に寄附目標額を増額しております。

19款、繰入金は、ふるさと寄附金の増額に伴うふるさと基金の繰り入れの増加や、庁舎建設基金、学校施設整備基金などの繰入れ増により、1億2,316万7千円増の、39億9,486万4千円であります。

22款、市債につきましては、複合交流拠点施設monacaや、井頭温泉リニューアル工事、第一学校給食センター建設等の大型事業の完了により、

14億2,890万円減の14億6,340万円を見込んでおります。

次に、4ページは、一般会計における財源構成の推移と財政指標の推移を、5ページは、一般会計の歳出予算を、6ページは、一般会計を性質別に分類したものを、7ページは、普通建設事業費を会計ごとに分類したものを掲載しております。

なお、8ページからは、特別会計及び事業会計の歳入、歳出などを掲載しております。主な部分についてのみ、ご説明いたします。

8ページをご覧ください。

国民健康保険特別会計であります。医療の高度化や高額薬剤の保険適用により医療費が増加することから、保険給付費が増加となっております。

次に、10ページをご覧ください。

介護保険特別会計 保険事業勘定では、介護予防要支援者の訪問・通所サービス費の増加により、地域支援事業費が増加となっております。

次に、12ページをご覧ください。

産業団地整備事業特別会計は、事業の進捗に伴う工事費の減少や、地方債元本償還金の減少により、前年度に比べ、減額となっております。引き続き造成工事を進め、第3期予約分譲にむけて事業を推進してまいります。

次に、15ページをご覧ください。
ここからは、一般会計における令和7年度の主な新規・拡充、継続事業についてご説明申し上げます。

はじめに、総務費であります。

1番、非常勤職員費「気象防災アドバイザーの配置」につきましては、新たに専門的知識を有する気象防災アドバイザーを配置し、防災力・災害対応力の向上を図ってまいります。

2番、物価高騰対応 自治会支援事業費「自治会活動支援奨励金」につきましては、国からの重点支援地方交付金を活用し、全自治会に支援金を交付することで、物価高騰の影響を受ける自治会活動を支援してまいります。

3番、デジタル推進事業費「ノーコードプログラミングツールの導入拡大」につきましては、プログラミングの知識がなくてもアプリケーションを簡単に開発できるクラウドサービス「キントーン」を活用して、現場との情報共有と指示を即時に行えるアプリなどを作成し、DXによる業務の効率化を推進してまいります。

4番、ICT教育推進事業費「教職員用PCの更新」につきましては、各小中学校で教職員が利用している校務系端末約600台と、学習系端末約500台の更新を行い、ICT機器を活用した効果的な授業や校務の効率化を推進いたします。

5番、海外友好都市交流推進事業費「インターンシップ・オンライン交流事業」につきましては、新たに大学生等を対象にグレンドール市との相互派遣を行うインターンシップ事業を実施するほか、高校生を対象とした友好都市とのオンライン交流会を開催し、友好都市との相互理解を深めるとともに、グローバル人材の育成に努めてまいります。

6番、地域おこし協力隊活動事業費「地域おこし協力隊新規活動事業」につきましては、これまでの協力隊の活動に加え、新たに国際交流、若者活躍、いちごのまち事業について、それぞれ、地域おこし協力隊としての活動を実施してまいります。

7番、複合交流拠点管理費「複合交流拠点施設指定管理料」につきましては、令和7年1月25日に開館した複合交流拠点施設monacaを「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」市民の皆様の居場所となる施設

として、管理運営してまいります。

8番、人事管理費「女性職員向けステップアップ研修」につきましては、中堅女性職員向けのステップアップ研修を実施し、女性職員のさらなる活躍を推進するとともに、性別にかかわらずすべての職員が活躍できる職場づくりを進めてまいります。

9番、財産管理費「総合福祉保健センター等複合化施設改修工事」につきましては、現在の科学教育センターを改修し、総合福祉保健センター、適応指導教室およびシルバー人材センター等が一体となる複合化施設工事を実施してまいります。

10番、井頭周辺活性化事業費「いがしらリゾートシャトルバスの運行」につきましては、特に利用ニーズが多い夏休み期間中にシャトルバスを運行し、「いがしらリゾート」のさらなる活性化を図ってまいります。

11番、物価高騰対応 家庭用防犯設備 設置支援事業費「家庭用防犯設備設置を補助」につきましては、重点支援地方交付金を活用し、市民の防犯対策にかかる費用を補助することにより、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

12番、空き家対策事業費「相続財産管理制度活用事業」につきましては、相続人がいない空き家の解消を図り、安全で快適な住環境の維持向上をすすめてまいります。

次に、16ページをご覧ください。

民生費であります。

13番、介護人材確保対策事業費「介護支援専門員処遇改善事業」につきましては、介護サービス事業者に対してケアマネージャーの処遇改善のための補助金を交付することで、不足するケアマネージャーの離職防止や入職促進を図ってまいります。

14番、こども家庭センター児童福祉事業費「子どもの居場所づくり事業補助金」につきましては、養育環境に課題を抱え、家庭や学校に居場所のない子ども達に対し、居場所やこども食堂などの生活支援の提供を行う団体への運営補助を拡大し、長期休暇中の支援体制を強化してまいります。

15番、放課後児童健全育成事業費「放課後児童クラブ送迎支援事業」につきましては、放課後児童クラブが実施する送迎事業を支援し、クラブの少ない地区や利用が困難な児童のクラブ利用を促進してまいります。

16番、真岡駅子ども広場管理費「真岡駅子ども広場管理事業」につきましては、真岡駅子ども広場を市の直営とし、引き続き0歳か

ら低学年の子供たちが安心して遊べる広場として運営してまいります。

17番、物価高騰対応 保育施設等 副食費支援事業費「保育施設等副食費支援事業」につきましては、重点支援地方交付金を活用して、現在自己負担となっている第一子分の副食費を補助し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援してまいります。

18番、保育士対策事業費「保育士宿舍借り上げ支援事業」につきましては、私立保育園に対し保育士の宿舍を借り上げる費用を支援することで、働きやすい環境を整備し、保育人材確保を支援してまいります。

次に、衛生費であります。

19番、健康増進施設運営費「井頭温泉熱源システム更新工事」につきましては、リース期間満了に伴う井頭温泉のボイラーおよび空調機器の更新工事を実施し、リニューアル後の施設の快適性を向上させることで、更なる誘客と利便性・満足度の向上を推進してまいります。

20番、まちなか保健室事業費「まちなか保健室3か所の運営」につきましては、駅前館・田町館・にのみや館の3館について、市民がいつでも安心して立ち寄り、健康に関する相談や地域の人と触れ合うことができる健康づくりの拠点として引き続き運営してまいります。

21番、妊娠出産包括支援事業費「妊娠から出産まで切れ目のない支援」につきましては、出産後の母子に対し、委託した医療機関等において、宿泊型やデイサービス型による心身のケアや育児サポートを継続するほか、新たに低所得の妊産婦等へ初回の健診受診料を助成し、経済的負担の軽減を図ってまいります。

22番、環境対策事業費「住宅用太陽光・蓄電池システム設置補助金」につきましては、一般家庭の再生可能エネルギーの普及促進を図るため、引き続き住宅用太陽光・蓄電池システムの設置に対して費用の一部を補助してまいります。

次に、労働費であります。

23番、雇用支援対策費「市内事業者への人材確保と移住促進」につきましては、関係機関と連携した合同就職面接会の開催やUIJターンにより就業または創業される方へ引き続き就業定住助成金を交付するほか、新たに引っ越しにかかる費用の補助を拡充し、東京圏の大学生の市内への移住・定住を促進し、雇用機会の確保及び就業の支援に努めてまいります。

次に、農林水産業費であります。

24番、物価高騰対応 農業者支援事業費は、重点支援地方交付金を活用し、物価高騰により厳しい経営環境におかれている農業者へ補助を行うことで、負担軽減を図り、経営の安定を支援してまいります。

17ページをご覧ください。

25番、園芸産地拡大推進事業費「農畜産物販路拡大等支援補助金」につきましては、農畜産物の生産、加工、流通・販売までを一貫して手掛ける6次化の取組や、新たな顧客獲得のための販路開拓などの取組を支援することで、真岡市産農畜産物の付加価値の向上や、収益力の向上に努めてまいります。

次に、商工費であります。

26番、商業振興対策費「プレミアム商品券発行支援事業」につきましては、プレミアム付き商品券発行支援として、重点支援地方交付金を活用して20%の付加価値を付けるとともに販売額を増額し、市民の消費喚起を促すことで、商店の活性化を図ってまいります。

27番、観光対策費「観光動画デジタル広告及び分析業務」につきましては、市の観光客層のターゲットに向けてデジタル広告の配信を行い、デジタル情報へのアクセス状況や潜在的な観光ニーズを詳細に分析することで、市の観光客層を明確化し、観光客入込数及び観光消費額の増加につなげてまいります。

次に、土木費であります。

28番、地籍調査事業費「地籍調査支援システムの導入」につきましては、土地の現地調査や測量により新たな地籍図や地籍簿を作成する地籍調査事業の開始に先立ち、必要となるシステムの導入を進めてまいります。

29番、道路改良事業費「待避所整備事業」につきましては、狭あい道路の全線拡幅を待避所整備に切り替えることで、短期間に低コストで効果的な道路整備を進めてまいります。

30番、市街地整備費「中心市街地リノベーション事業 荒町・田町地区」につきましては、久町通りの利便性向上のため、道路拡幅に向けた物件調査積算業務、物件移転等の補償業務を実施し、市民生活環境の向上に向けた整備を進めてまいります。

次に、消防費であります。

31番、消防施設管理費「消防会館解体及び消防ポンプ車更新」につきましては、建替えが完了した消防会館の解体と、普通自動車免許で運転可能な3.5t未満の消防ポンプ車への計画的な更新を実施し、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

次に、教育費であります。

32番、部活動奨励費「部活動地域移行にかかる実証事業」につきましては、中学校の休日の部活動に地域クラブ活動指導員を配置し、学校部活動の地域移行に向けたモデル事業を実施してまいります。

33番、小中学校施設管理費「体育館空調設備整備設計業務」につきましては、小中学校体育館への空調設備導入に向け、中学校9校と真岡小学校の体育館空調設備の設計業務を実施し、教育環境改善に取り組んでまいります。

34番、公民館等一般管理費「公共施設案内・予約システム導入」につきましては、予約から支払いまで一貫して手続きができる「公共施設案内・予約システム」を市のすべての会議室に導入し、利用者の利便性向上を図ってまいります。

35番、体育館管理費「総合体育館・武道体育館ミスト扇風機・LED照明導入」につきましては、夏の暑さ対策として総合体育館および武道館へミスト扇風機を配置するほか、照明設備のLED化を実施し、体育施設の省エネルギー化や利用者の利便性向上を図ってまいります。

36番、学校給食センター管理費「学校給食費の支援」につきましては、物価高騰の影響を受ける保護者の負担軽減のため、今年度に引き続き、学校給食費の値上げ分を支援することで、子育て世帯を支援してまいります。

以上が、令和7年度当初予算の概要であります。新たに策定する「真岡市総合計画 2025-2029」の着実な推進を図るとともに、「選択と集中」を基本に、真に必要な施策への予算を重点的に配分いたしました。

そして、はじめに申し上げましたとおり、若い世代が希望をもって「真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい」と実感できるまちづくりを実現するための「100年へ向けた第一歩 未来へつなぐまちづくり予算」として予算編成に努めたところであります。

しかしながら、年々増加する社会保障関係経費、電気料金や物価の高止まりなど、引き続き、厳しい財政状況の中、事業の緊急性、優先性、有効性等を見極め、健全財政の維持にも十分配慮したところであります。

なお、資料2「真岡市総合計画 主要事業・重点プロジェクト」につきましては、真岡市総合計画 2025-2029における令和7年度主要事業などを掲載しておりますので、後ほど参考にご覧ください。

最後に、資料3「令和7年度 組織機構図」をご覧ください。令和7年度予算の執行にあたり、一部組織機構を改編し、事務事業を執行してまいりますので、主な変更点について、ご説明いたします。

1点目は、総合政策部の改編であります。

複合交流拠点施設 m o n a c a が開館し、一連の整備業務が終了したことから、プロジェクト推進課の「複合交流拠点整備係」を廃止いたします。

2点目は、市民生活部の改編であります。

まず、くらし安全課の「危機管理係」を独立させ、「危機管理課」を新設いたします。

これは、予期せぬ災害等から市民の安全で安心な生活の確保をさらに推進させることを目的として、地震や大雨などの災害対策を担当する「危機管理係」と、消防団の支援や消防施設の管理などを担当する「消防防災係」を新設いたします。また、気象防災アドバイザーを配置し、防災対策の強化を図るとともに、状況に応じた迅速な避難情報の発令など、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

次に、環境課の「環境保全係」に「環境対策係」を統合し、市営墓地の管理や里山林の整備、地球温暖化対策など、生活環境の保全と公害防止対策などを集約することで業務の連携強化を図ります。

3点目は、健康福祉部の改編であります。

複合交流拠点施設 m o n a c a の2階、もおかつ子フロアへ子育て支援センターが移転したことから、その関連する業務と真岡駅子ども広場に関する業務を、こども家庭課の「子育て支援係」が所管いたします。

4点目は、建設部の改編であります。

今後、地籍調査事業の本格的な着手に対応するため、都市整備課に「地籍調査係」を新設し、調査対象地域における事業計画作成などの準備を進めてまいります。

5点目は、上下水道部の改編であります。

市民のみなさまにわかりやすい窓口とするため、水道課と下水道課の給排水工事の受付窓口を業務委託により一本化し、新たに「上下水道工事受付センター」を設置し、また、同じく業務委託による現在の料金担当窓口を「上下水道お客様センター」へ名称を変更いたします。あわせて、水道課の「庶務係」を「経営管理係」へ名称変更し、主に水道事業の経營業務を所管してまいります。

最後に、教育委員会の改編であります。

まず、学校や児童生徒の多岐にわたる諸課題に専門的かつ幅広く対応していくため、現在の「学校教育課」を再編し、政策指導部門を担当する「学校教育課」と、学校管理部門を担当する「学校管理課」の2課体制で小中学校教育を展開してまいります。

なお、「学校教育課」の係配置は、現在の「総務係」「教育政策係」「指導係」とし、新設する「学校管理課」には「学校管理係」「保健給食係」「学校施設係」を配置いたします。

次に、「生涯学習課」に「m o n a c a 係」を新設し、現在の

「生涯学習係」の図書館業務を移管するとともに、総合政策部プロジェクト推進課で所管してきたm o n a c aの管理運営業務を移管することで、図書館業務を含めた施設管理運営を一体的に所管いたします。

令和7年度当初予算の概要についての説明は以上となります。